



# ふれあいビンゴ（冬）

## 梵珠少年自然の家

### 1 活動のねらい

- ・グループで協力しながら活動することで、仲間意識を高めることができます。
- ・冬の自然の中で活動する楽しさを味わい、自然に親しむ心や自然に対する敬けんの念を育てることができます。
- ・CP（チェックポイント）を引率者が行うことにより、参加者との親近感をより高めることができます。

### 2 活動の概要

冬の自然の中をスノーシューで歩きながら、グループで各CP（チェックポイント）の課題を解決しつつ、ビンゴゲームを楽しむ活動です。なお、CP（チェックポイント）には「首から課題をぶら下げた引率者」を配置し、参加者とふれあいつつ、安全管理も行う体制で実施します。

- (1) 人数 70人以内（1グループ5～8人）
- (2) 対象 小学校3年生以上
- (3) 期間 1月上旬～3月上旬
- (4) 時間 2時間（説明・準備40分＋活動80分）
- (5) 場所 自然の家活動エリア
- (6) 経費 無料
- (7) 指導 依頼のある場合、ルール等について、自然の家職員が説明を行う。



<活動の様子>

### 3 準備物

団 体	救急薬品
個 人	帽子、手袋、長靴、冬の野外活動にふさわしい服装
自然の家	鉛筆、カードホルダー、ピブス、スノーシュー（児童生徒用、引率者用）、ビンゴカード（裏面地図）、課題（首下げ）、課題で使う用具一式、無線機（8台）

### 4 引率者の役割分担

役割名	内 容
代表責任者	1名。責任者として自然の家に残り、全体の総括、指揮、連絡にあたる。
スタート・ゴール	1～2名。玄関前SG場から時差式でスタートさせる。CP5の課題の運営も行う。
CP担当者	4名程度。各CPの課題を首からぶら下げて運営する。コースの道案内や安全管理も併せて行い、CP通過後は、本部に無線で連絡する。また、各CPの用具の設置と回収も行う。
パトロール	数名。コースを巡回し、安全と事故防止に努め、緊急時に対応する。

## 5 活動の流れ

	内 容
説 明 準 備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルール、安全管理、服装（防寒着・帽子・手袋）、スノーシューの扱い方について説明</li> <li>・スタート順とゴール後の待機場所について確認</li> <li>・鉛筆、カードホルダー、ピブス、ビンゴカードの貸出、配付</li> <li>・グループ毎に、ビンゴカードの裏面に、1～50のビンゴ数字を書き入れる。</li> </ul> ※CP 担当者はこの間に所定の場所へ移動し、用具等の準備をする。
活 動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3～5分間隔の時間差でスタート（パトロール係は巡回指導）</li> <li>・各CPを回り、課題に挑戦する。</li> <li>・全CPをクリアしたらゴール。</li> <li>・全員のゴールを確認する。</li> <li>・CP担当者は用具を回収する。</li> </ul>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビンゴカードの回収、採点、集計、順位の発表</li> <li>・ビンゴの得点がグループの得点となる。</li> <li>○数字得点（10点）…ポイントにあるビンゴ数字とビンゴ表の数字で同じものがあれば○印をつける。</li> <li>○ライン得点（30点）…○印が縦、横、斜めに一列に並んだとき。</li> <li>※「FREE」も10点に数える。</li> <li>・借用物品を返却（無線機は事務室へ返却）</li> </ul>

## 6 実施上の留意点

- ・当日、自然の家職員と引率者全員で、事前確認を行う。（ルール、CP及びコース状況など）
- ・CPの用具の設置及び回収は活動団体が行う。
- ・CPの課題は引率者作成のものでもよい。

## 7 安全に実施するためのポイント

- ・荒天時は中止する。
- ・待機場所には必ず引率者が常駐し、安全管理を行う。

## 8 エリア地図

